

「粉ちょうだい…」

ポウルを両手で抱きかかえるように持ち、呼び鈴を鳴らしてはその台詞を言う…。

そんな小 2 の男の子がいるのだという噂を耳にしたのはもう 10 年以上前のこと。

（「粉」をもらって歩いてどうするの？）私は、そんな知人の話が信じられませんでした。知人の話によると、粉は水に溶かして焼いて食べるらしいとのこと。それを聞き、胸がしめつけられました。

男の子がお腹をすかせ、自ら物乞いのようなことをして歩いている…。なぜ「粉」なのか？その意味は深い。利発な彼は、ストレートに食べられるものをねだるのではなく、「粉」をもらうという行動に出た。いつも元気で明るい彼を知っていただけに、動揺が走ったことは言うまでもない。「まさか、あの子が…」

9 月 4 日（月）「子どもの貧困」をテーマに、「子育て支援活動交流研修会」を開催しました。「メルマガを見た」と一言添えて下さった申し込みも含め、103 名の子育て支援に関心のある方々が、当センターに集まりました。

- ◆日本に、そして盛岡にも貧困の子どもがいることに驚いた。
 - ◆見えない貧困は身近にあり、とても考えさせられた。
 - ◆話を聞きながら涙が出た。自分にも何かできることがあると思えた。
 - ◆子ども食堂は、貧困のためだけのものと思っていたが、考え方が変わった。
 - ◆地域などで状況は違えども、未来の子ども、日本のために思う気持ちは同じ。
- などなど。参加者の皆さんの感想のほんの一部ではありますが、重いテーマでありながら、一人一人が深く考え、何か行動したくなる…そんな研修会となりました。

ところで、福沢諭吉の「学問のすゝめ」の有名な一節はみなさんをご存知かと思います。

「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言えり」

実は、この文章の後、こんなふうになります。

「人は生まれながらの貴賤（きせん）の別はないが、いつの間にか仕事や身分に差ができる。それは、学問をしたかどうかの違いだ」

…なんだか、現代の「子どもの貧困」と重なっているなと思います。

粉をもらって歩いていた男の子は、地域住民の声から始まり、学校の先生方、民生委員…とつながりを見せ、命が救われました。その後、教育の機会を得て、自立して社会で活躍

していることを願わずにはられません。

「見た目は氷山の一角でしかない」「支援はおしつけではない」「愛情を注ぎ続ける」
岩手県立大学准教授 櫻幸恵（さくら ゆきえ）氏のこれらの言葉が断片的に心に残りました。（講義「子どもの貧困から見えてくるもの ～『貧困』が子どもや地域に与える影響～」より）

なぜ、あの男の子の貧困が見えにくかったのかを、私はこの研修会を通して、今更ながら理解することができました。ですから、一人でも多くの方に、「子どもの貧困」について立ち止まって考えていただけたらと思います。

ひょっとしたら、地域とのつながりを持たずに孤立し、「助けて」と言えない親たちもまた、あなたの周りにもいるのかも知れません。【A】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。（アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^)）

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」（<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>）> 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」（次回から直接、メルマガを受信することができます）

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝え願います。

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索